



改修された議場。写真中央に新しく作った質問席が見える

6月定例会市議会から、本会議での一般質問や質疑などの質問が、議員と市長側が向き合う対面式で行われます。また、一般質問には、一問一答方式が試行で導入されます。

これは、傍聴席やテレビで見える人に、質問や答弁の内容を分かりやすく伝えるためのものです。また、議論を活発化させることも大きな目的です。

議場の改修も行い、議員席の最前列中央に質問席を新たに設け、対面式にしました。市長側の答弁台は、

問い合わせ 議会事務局 (☎92-8332)

従来のまま、議長席の前方です。

一問一答方式とは、議員と市長側が対面し、議員が一問ずつ質問し、それに市長側が答えていくことを繰り返すものです。議員1人の持ち時間40分で、この時間内であれば何度でも質問できます。

当面は試行で行われ、一問一答方式か、これまでの一括質問で一括答弁を求める方式のいずれかを、議員が選択できます。一定の時期が来た段階で本格実施に移行する予定です。

## 6月定例会市議会から質問は対面式に 試行で一問一答を導入

### 総社観光プロジェクト実行委員会発足 報告書で提案の事業を実施へ



総社観光プロジェクト実行委員会が発足し、あいさつする守安信吾会長

問い合わせ 商工観光課観光プロジェクト係 (☎92-8277)

3月30日に総社観光プロジェクトから提出された報告書に基づき、市の観光振興を進める「総社観光プロジェクト実行委員会」が4月20日、発足しました。

委員は、市内の観光関係者や商工関係者など9人。会長には市観光協会の守安信吾会長が就任しました。この日開かれた第1回目の実行委員会では、報告書で示された「吉備のくに観光文化大学の開催」や「デザインの一統化」「特産品の新商品の提案」など24事業の優先順位を検討、民間と行政が協働で推進していくことを確認しました。



総社市廃棄物減量等推進審議会の水野三重子会長が市長に答申書を提出

総社市廃棄物減量等推進審議会(水野三重子会長)は4月20日、指定ごみ袋値下げによるリバウンド防止策を市長に答申しました。

市は同審議会に、指定ごみ袋の料金を値下げした場合のリバウンド防止策を、昨年12月に諮問。水野会長は、「ごみ袋の料金を下げることは適当であると考えますが、リバウンドをおこさないために防止策を提示します」とする内容の答申書を市長に提出しました。防止策は、市民意識の高揚や資源の再利用の推進、紙類のリサイクル徹底など6項目です。

同審議会は昨年12月以降、専門部会も設置し協議。この日、総合福祉センターで審議会を開催し、答申内容をまとめました。

市では、平成18年4月から、ごみ収集の有料化を実施しています。家庭ごみの排出量は、平成17年度と比較し、20%の削減という目標を、平成20年度、同21年度と2年連続で達成しています。

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎92-8338)

## 指定ごみ袋の料金値下げ検討のため リバウンド防止策 6項目を答申



危険

正しい出し方!!!

近ごろ、ごみ収集車やごみ集積所でぼやが続いています。また、吉備路クリーンセンターでも火事が発生しました。

ごみ収集車での出火は、カセットガスボンベやスプレー缶などに穴を開けていないことが原因。吉備路クリーンセンターの火災は、草刈機などに使う混合油や塗料の溶剤が容器に残ったまま搬入されたためです。このようなものは、破碎すると火花が起り、引火するものと考えられます。

ごみ収集車や施設に被害が起こると多額の修理費が必要となります。

ごみを出すときには、正しく処置し、分別処理をして集積所に出してください。

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎92-8338)



#### 正しい出し方

品名	正しい出し方
混合油や塗料の溶剤などが入った容器	使いきって出す
カセットガスボンベやスプレー缶	使いきって、穴を開けて出す